

接合部の確認表

参考様式

■ 柱の柱頭・柱脚及び筋交い端部を下記の表に記入する。

なお、接合部金物については全数、写真に記録を取ること。

番号	階	柱位置		出隅かその他か		選定した表3の記号
		X	Y	出隅	その他	
1				出隅	その他	
2				出隅	その他	
3				出隅	その他	
4				出隅	その他	
5				出隅	その他	
6				出隅	その他	
7				出隅	その他	
8				出隅	その他	
9				出隅	その他	
10				出隅	その他	
11				出隅	その他	
12				出隅	その他	
13				出隅	その他	
14				出隅	その他	
15				出隅	その他	
16				出隅	その他	
17				出隅	その他	
18				出隅	その他	
19				出隅	その他	
20				出隅	その他	
21				出隅	その他	
22				出隅	その他	
23				出隅	その他	
24				出隅	その他	
25				出隅	その他	
26				出隅	その他	
27				出隅	その他	
28				出隅	その他	
29				出隅	その他	
30				出隅	その他	

番号	階	筋交い位置		選定した表2の筋交いの種類
		筋交い	位置	
1		通	～	
2		通	～	
3		通	～	
4		通	～	
5		通	～	
6		通	～	
7		通	～	
8		通	～	
9		通	～	
10		通	～	
11		通	～	
12		通	～	
13		通	～	
14		通	～	
15		通	～	
16		通	～	
17		通	～	
18		通	～	
19		通	～	
20		通	～	
21		通	～	
22		通	～	
23		通	～	
24		通	～	
25		通	～	
26		通	～	
27		通	～	
28		通	～	
29		通	～	
30		通	～	

■ 接合方法に応じた項目を確認し、チェックする。

① 柱の柱頭・柱脚の接合方法

(1) 建築基準法告示(平12建告第1460号)の仕様により選定する場合

- 1) XY各方向から柱に取り付く耐力壁の種類(筋交いであればその向きも)が表1のどれにあたるか設計図(柱壁伏図)で確認できるか
- 2) 柱が平屋部分、最上階、上に階のある階のいずれかに位置するか及び出隅か否かについて設計図(柱壁伏図)で確認できるか
- 3) 上記より、接合部の仕様は表1から適切に選択されているか(複数の耐力壁が取り付く場合は必要な耐力が最大のものとなっているか)
- 4) 選定された接合部の仕様は設計図(柱壁伏図)に表記されているか

チェック		チェック
<input type="checkbox"/>	接合部の仕様が設計時に選定した仕様と一致しているか	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	工事監理者による検査の結果、設計通り施工されているか	<input type="checkbox"/>

② 筋交い端部の接合方法

- 1) 柱に取り付く筋交いの種類が表2のどれにあたるか設計図(柱壁伏図)で確認できるか
- 2) 上記より、接合部の仕様は表2から適切に選択されているか
- 3) 選定された接合部の仕様は設計図(柱壁伏図)に表記されているか

チェック		チェック
<input type="checkbox"/>	接合部の仕様が設計時に選定した仕様と一致しているか	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	工事監理者による検査の結果、設計通り施工されているか	<input type="checkbox"/>